

白川文字学



発行 H30.2
福井県教育委員会
生涯学習・文化財課
No10

二月七日は 福井県の誕生日!

わたしたちのふるさと福井県は、北の越前と南の若狭からなり、美しい山並みと水に恵まれた素晴らしいところです。

現在の福井県が誕生したのは、一八八一年(明治十四年)二月七日です。

県では、この日を条例で「ふるさとの日」と定め、県民の皆さんに郷土について理解を深めていただき、ふるさと福井への思いを新たにしてもらう日としています。二月七日は、福井県の誕生日なのです。

しあわせ元気!



ふるさと福井には、素敵な景色がいっぱい!



国字を紹介します。

日本で作られた漢字を国字といいますが、漢字は、中国で三千年以上も前に作られたものが日本に伝わってきたのですが、国字は、日本の風土や生活に合わせて工夫して作られた文字なのです。

【析】

9画 とち

もとの字は、木と万とを組み合わせた形の析。十干は、千の十倍で万であるから「とち、とちのき」を析としたという説がある。明治時代中頃から「析」の字が使われるようになった。



『モチモチの木』は析の木なんだよ。



秋になると、茶色いぴかぴか光った実を、いっぱいふり落としてくれる。その実を、じさまが、木ですていて、石ですていてこなにする。こなにしたらやつをもちこね上げて、ふかして食べると、ほっぺたが落ちこちるほどうまいんだ。

(光村図書 三年国語下 『モチモチの木』 齋藤隆介より)

ほかにも こんな国字があります。

3画 畑 9画 はた はたけ

火と田を組み合わせた形。水田に対して、草を焼いて焼畑として開墾した

土地 (平凡社『漢字の世界』より)

※働峠 堀込 梓腺 匂 などもあります。

「白川文字学ニユース」では、新学習指導要領で新しく学習する20字の漢字を紹介しています。

- 崎 媛 岡 潟 岐 阜 熊 香 佐 埼
- 滋 縄 井 沖 枋 奈 梨 阪 鹿

